

平成29年4月3日

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、平成29年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。

また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、子供達の線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

平成29年4月6日(木)から4月15日(土)までの10日間

■実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・列車内などでの業務用放送での呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・道内の駅レンタカー営業所(約20箇所)及び全道のガソリンスタンド(約50箇所)をご利用になるドライバーへの呼びかけ(ポケットティッシュ配布)
- ・小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
- ・関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・函館駅構内でのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

<平成28年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は2件で、平成27年度より7件の減少となり、これは会社発足以来最少の記録となりました。しかし、2件の踏切事故のうち10月の事故は、警報機が鳴っている踏切に進入した乗用車が列車と衝撃して2名の方が尊い命を落とされており、

このほかにも依然として悲惨な事故に繋がりがかねない踏切の無理な通行が多数発生しており、列車の運転手が踏切に立ち往生している車を発見したり、非常ボタンを扱われたことを認め列車が急停止するなどの事例が308件発生しました。

また、警報機が鳴っている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ポールの折損も多数発生しています。

踏切における安全通行の呼びかけ実施

各地区において踏切事故防止の呼びかけを行います。このときは、ノボリを掲出し、各地区のJR社員が踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼びかけていきます。また、一部の踏切における呼びかけにつきましては北海道運輸局をはじめ、交通関係協力団体等の方々にもご協力いただき実施する予定となっております。

実施箇所一覧

実施地区	日 時		線 名	場 所	
本社直轄	4月7日(金)	11:00	室蘭線	幌別構内	幌別学校道路踏切
	4月10日(月)	11:00	千歳線	長都構内	東6線踏切
	4月11日(火)	9:30	函館線	桑園駅	駅前(西口・東口)
		10:00	室蘭線	錦岡～糸井	新通り踏切
	4月12日(水)	10:00	函館線	発寒～発寒中央	発寒小学校踏切
		10:00	函館線	岩見沢～峰延	旧国道踏切
4月13日(木)	11:00	函館線	苗穂構内	東9丁目	
釧路支社	4月10日(月)	11:00	根室線	西帯広構内	A団地踏切
	4月13日(木)	10:30	根室線	釧路構内	木工場踏切
旭川支社	4月6日(木)	9:30	宗谷線	名寄構内	南2丁目踏切
		10:00	石北線	西北見～北見	西7号線踏切
	4月12日(水)	10:30	宗谷線	北旭川～永山	永山町7丁目踏切
函館支社	4月6日(木)	10:30	函館線	函館駅	駅前広場・コンコース
		13:30	函館線	函館～五稜郭	第二亀田道路踏切

※当日の天候、移動時間等により予定を変更する場合があります。